

I. 事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備， 維持補修又は維持運営等措置	高山小・中学校楽器整備事業	肝付町	1,188,000	1,188,000	
2	公共用施設に係る整備， 維持補修又は維持運営等措置	パススルー冷蔵庫購入事業	肝付町	1,792,800	1,792,800	

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備，維持補修又は維持運営等措置	高山小・中学校楽器整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		肝付町		
交付金事業実施場所		肝属郡肝付町新富及び前田地内		
交付金事業の概要		<p>高山小学校及び高山中学校の楽器は，購入年度がどれも古く，毎年メンテナンスを実施していますが，音が出にくい，管楽器のメッキがはがれているなど，老朽化が著しく，慢性的に楽器不足の状況にあるため，一部の楽器購入に交付金を充当します。</p> <p>（高山小学校） マーチングスネアドラム1台，スネア用キャリングフォルダー1台，アルトサクソフォン1台，フルート1台 （高山中学校） アルトサクソフォン1台，トロンボーン1台，ドラムセット1台，コンガ2台，コンガスタンド2台，カスタムトランペット1台，ピッコロ1台</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>肝付町教育基本計画（平成27年度～平成31年度） 第V章 基本事業の内容 3. 芸術文化活動の充実 第VI章 具体的な推進計画 2. 社会教育の推進 (2) 社会教育の推進 ⑧豊かな感性を育む文化の充実 ○地域に根ざした文化活動の推進 児童生徒に豊かな感性を育むとともに，校内外のイベントへの積極的な参加が見込まれる。 （目標） 肝付町内小中学校楽器更新計画達成度 現状0%（平成30年度当初）→中間目標69%（平成33年度）→最終目標100%（平成36年度）</p>		
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度	平成30年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 平成33年度		
	肝付町内小中学校 楽器更新計画達成 度69%	(楽器更新済台数 /楽器要更新台 数) ×100	成果実績	%			
			目標値	%	69		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	成果目標の中間評価年度に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	高山小学校及び高山中学校に楽器の整備を行い、慢性的な楽器不足が解消されたことで、学校環境の充実が図られ、今後の音楽発表会や地域での文化活動における参加機会の拡充が期待されます。 「肝付町内小中学校楽器更新計画達成度」については平成33年度に改めて達成度合いを測定予定です。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	高山小・中学校における 楽器の整備台数		活動実績	台	—	—	13
			活動見込	台	—	—	13
			達成度	%	—	—	100
交付金事業の総事業費等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考		
総事業費		0	0	1,188,000			
交付金充当額		0	0	1,188,000			
うち文部科学省分		0	0				
うち経済産業省分		0	0	1,188,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
備品（楽器）購入		指名競争入札		ピアノテック吉井（肝付町）		1,188,000	
交付金事業の担当課室		肝付町教育総務課					
交付金事業の評価課室		肝付町教育総務課					

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備，維持補修又は維持運営等措置	パススルー冷蔵庫購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		肝付町		
交付金事業実施場所		肝属郡肝付町新富地内		
交付金事業の概要		<p>肝付町学校給食センターは平成11年から稼働する町内の小中学校7校を対象とした施設ですが，調理器具等の耐用年数が大幅に経過し，調理業務に支障を来しているため，パススルー冷蔵庫の更新に交付金を充当します。</p> <p>【仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パススルー冷蔵庫HR-180CA-6G6G 1台 ・3枚扉 		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策と目標		<p>肝付町教育基本計画 第IV章基本事業 7 たくましい体づくりの推進 19 学校給食の充実 第VI章具体的な推進計画 (5) 保険・給食・体育・安全指導の充実 ②学校給食の充実</p> <p>完成した給食の適正な温度管理を可能とし，地産地消を始めとした食育の推進をより加速させ，地域住民の福祉の向上を図ることを目標とする。 (目標) 栄養のバランスに配慮した新メニューの提供 現状10回/年(平成29年度)→目標15回/年(平成31年度)(50%増)</p>		
事業開始年度		平成30年度	事業終了(予定)年度	平成30年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 平成32年度		
	栄養のバランスに 配慮した新メ ニューの提供15回 /年	左記メニューの提 供回数計	成果実績	回/年			
			目標値	回/年	15		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	整備した冷蔵庫を使用した年度の翌年度に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>パススルー冷蔵庫の整備を行ったことにより、完成した給食の適正な温度管理が確保され、町内小中学校への充実した給食の提供が可能となりました。今後、新メニューの提供等、更なる充実を図り、地域住民の福祉の向上を図ります。「栄養のバランスに配慮した新メニューの提供」については平成32年度に改めて達成度合いを測定予定です。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	パススルー冷蔵庫の整備台数		活動実績	台	—	—	1
			活動見込	台	—	—	1
			達成度	%	—	—	100
交付金事業の総事業費等	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費	0	0	1,792,800				
交付金充当額	0	0	1,792,800				
うち文部科学省分	0	0					
うち経済産業省分	0	0	1,792,800				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
備品（パススルー冷蔵庫）購入		指名競争入札		鹿児島アイホー調理機㈱（鹿児島市）		1,792,800	
交付金事業の担当課室	肝付町学校給食センター						
交付金事業の評価課室	肝付町学校給食センター						

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
- なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
- なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。